號六十三百二千夫第

茂立松

ぶ

井中

杉村

巴達爾胡屯

吉伯吐

旧五月九日卷

本の共和学が勃発してからことに十年、事變の誘因となった中村震太郎、一井杉延 大郎神烈士と言葉を交した 最後の日本人、洗南駅前南 諸旅館主川本與四郎翁を朔 ため病床中にも拘らず烈士 の十周年大尉) 独を であつた 中村大尉が私方に来られたのは六月十七日、生語るの たのは六月十七日、生語るの であつた

した は かっと を で は かっと を で が かっと を で が かっと と 門 意 して た い で ら 冷 え た ビ ールで も ら かった を き 一角 意 し て た い で ら かった を き 一角 意 し て た い で ら かった を き 一角 意 し て た い で も ら かった か か な の を が な が か け か で か け か で か け か で か け か で か は な か で も ら ん い で も ら か は か に と が な か に と が な か に と が な か に と が な か に と が な か に と か に よ か に と が な か に と が な か に と が な か に と が な か に と い に と い に と に と か に と か に と い に と い に と い に と い に と い に と

協議會は來る九月廿日より 上たが、本年度各地代表數 は前年度より新たに與安西 南南省から各二名殖出席せ しめることに決定したので

酸分された

市長官房調査科長

依る任命は十七日左の如く新京特別市公署の科政殿に

科長級異動

新京市公署

命市公署工務處公園科長 市公署工務處公園科長 佐藤 昌

8

科學の探求に努めぬばなら

統合

問

題解決

圓滿調

資市場統合の質現を見るこ 方服調に進行し態よ來る七 り順調に進行し態よ來る七 り順調に進行し態よ來る七 り順調に進行し態よ來る七 の動文の折衝によ

農業部門

致 17 所

吉川商

Y

パリに 形成 ついて 水成 ついて がい に 一次 リに 形成 ついて 一次 の では 一次 日 では かい いっこう できる でんした

グ

0

口

占領

ペルリン舎紙の報道によれ ペルリン舎紙の報道によれ ボー六日ドイツ軍は佛、 特領の要衝ロングウイの市 特領の要衝ロングウイの市 を確保したものであつて、 アランスが世界に誇つた同 を確保したものであつて、 アランスが世界に誇つた同 方面のマディ線はこゝに重 大危機に直面しるた澤であ

但し右の報道は未だドイッ 軍司令部の確認するところ とはなつてゐない 九十六機繁隆 獨軍の發表 『ベルリン十六日發國通』

防禦線突破

英空軍の猛爆

ライン河東岸地區に

復露とかもに商店街は平常では十六日に至り治安は全くは十六日に至り治安は全くは十六日に至り治安は全く 治安全く恢復

郊外襲擊

日七十月五 村田 北本 東京 町田 RAD AAA

**

新京日日新聞社 東京日日新聞社 M M E Si

より部下の反感を買つて政治工作主任李志恩は豫 敵 投降 龙

掃 2

楽陽の残敵帰源に活躍する池田部隊(下)

わが軍に

戦區右翼兵團長兼卅三集團

張自忠戰死

中支軍當局發表

日

特設農場

0

前期班渡滿

刑事訴訟顧問及鑑定貨家貨地管理

るたが、最近部下第三國長 を様へ日本軍に障順を申出 を、日本軍に障順を申出 で来つた

十イプ

八時間以内に行動をパリーの参戦必至し

を起すのではないかと見られるに至つたと見るべき充分なる理由ありとされ、イタリーは今後四國道】十六日確實なる外交官筋より得たる情報によれば

にロンドン十六日 (ロンドン十六日 (ロンドン十六日) ス陸軍省十六日 強表 ライン河の東岸地區を空襲 ライン河の東岸地區を空襲 の補給たる道路、鐵道などの交通機關に大爆撃を敢行され とた、空襲は終夜積行され

工務、水電、特許關係の 動き鎖工部門の諸行政を 受機作する 養操作する 養操作する 大なほ右兩部機構改革と供行 と共に所謂近代產業に屬 大なほ右兩部機構改革と供行 と可現在經濟部に屬する投 を書き 監に、財 を計畫のうち歳入計畫に關 を計畫に 関連も傾劍に著屬されて

年長たる張自忠の職死に關 時左の如き當局談を強表し た

高等法院長黄炳言氏は十六(漢ロ十六日發展通)武漢

國民教育は

他を帶同十七日朝門司答施、大臣呂榮襄氏は田原現書其大臣呂榮襄氏は田原現書其大臣呂榮襄氏は田原現書其

九軍の驍將

益す重士

呂新民生部大臣

の所感

の 豊鎮縣境附近に

・ 豊鎮縣境附近に

・ 婚 豊鎮縣境附近に

・ 婚 居 し 他 く 歩みよりに基くものであるが、再出發する中央創資市 場は商品の圓滑均等なる配 数切下げの上に数果を期待 されてゐる、尚目下設立許 可申請中の承徳、安東、住 木斯の三市場も吸收される ことになつてゐる 皇軍に歸順

定たる康徽七年度協和會全根族協和、宣徳達情の大理 會全聯 極考究されてゐるが、由ついでは目下關係者間で の開催期日 九月下 協議 旬 命

中種 ら 本部で L た模様 く閉かり

(日 曜 土)

れる中 前年度議案の事後處理に十日か 央本部委員會で最後的決定

開催內定

時南烈士お泊りの部屋に 時南烈士お泊りの部屋といるに安置して 東京編をもつて蒙古奥地入り 東京編を前つて必ます。 東京編を前つて必ますとき、 で実調を前つて必ますとき、 で実調を前つて必ますとき、 が如く祭燈の奥に感謝してその は正道滿洲の将來を見守る た感涙に咽ぶのみであった。 に咽ぶのの異に強力の面影に に吸ぶのの異に強力の面影で を対してその は正道滿洲の将來を見守る を表現の を表現る を表れる を表現る を表れる を表現る を表現る を表現る を表現る を表現る を表現る を表現る を表現る を表れる を表現る 国家を理解機底としては用常普段の會運 神佐せしめるとよもに顧び合うに 一中堅會員を召集して各種としたが、本年度協議會の運営を 中堅會員を召集して各代表の診問事項は特にして 本に時間に應じ同協議會の運営を を設解して各代表に嗣係各種問題に を設解して各代表に副係係各種問題に を設解して各代表に副係係各種問題に としめるとよもに顧係各 を選替を合う。 を記述の をこと を記述の を記述

の日浦連絡 からの は からの は からの は からの は からの は からの で からの で からの で からの が からの で を が からの が からの で で で からの で で からの で で で で と述べ話を日滿經濟懇談會

が本年度は各省縣族市地區 本部長をも傍聽せしめるこ ととなつてゐる、また一般 に轉じ

その日く

百七十四名 全聯地方代表

なつた 科學の精進つひに實を精

ーでも質力ある才能を時 中でも質力ある才能を時 層への登場も、うなづかれ多年の経験薬達の土の上 るものはある

大異動が發表された、まさ 大異動が發表された、まさ

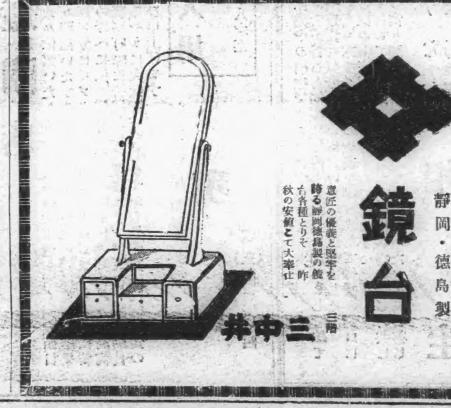
▲ 不放善五郎氏 舉天へ ▲ 清水正氏 哈爾濱へ ▲ 東大山氏 性末期 ▲ 東大山氏 性末期 本東大山氏 性末期 本東大山氏 整天へ 需要家の望いけ 機構正確比 林丘 絶對優秀日 った

來

神 理 速 士士 新京

滿洲國特許商標登錄 黑田實法律事務所 諸書類作成 日道三十三盃地

数ヶ所の重要地監に於て火 災を起し又大爆鍵を起した のが認められた、今回の空 壊は閉戦以来イギリス空軍 が行つた空爆の中最も大規 した日浦南國の上に之に は無上の光榮である。 で日本帝國發祥の地たる 南九州を視察出來ること は無上の光榮である。 た了へるわけだ を了へるわけだ を了へるわけだ



住宅のある

の住

鍵は? 開

たければ意味ないと思ったければ意味ないと表り道がというです。 とすれば、どんを付いを強い必要となるのを選げていいという。

ふはとかん

題蓄を非聴する

解決に協力せよ

一商工公會に訊く

署員の萬歳を受ける于新産業会署を員を屋上に招き賺別の

市公署員に離別

京商工公會三浦理事長に妙 住宅難打関の鍵を求めて新

制が原と

本 へば住宅用建築物が現在 本務所用に供せられてゐる、これでは住宅の足りないのは當り前で建てる ないのは當り前で建てるるが失張るが失張るが失張

(甘 唯 土ナ

示、各校一齊に當日は勅語率讀さ年に當るので在滿教務部では管下來る二十二日は畏くも天皇陛下と

対語率讃式を奉行、締

顧馬は新京在住十二年、西 護場小學校に子女を託して ある關係から同校父兄會長 に推され入年を経たが既に 同校に通ふ子女も無くなつ たのを機に辭任することゝ なり同校に記念のため競技

、閉會の辭、宮城遙拜、勅語中等學校生徒兒童約一萬名が

った、因みに全行事指揮官に 北安路に向つて大分列行進を

は行

市内羽灰町二丁目カ號宮木山豪市陸軍狄寧學校に幹部十

| 2017 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917

合會、首都協和會、滿冊國 を 職、新京特別市社會事業聯 個、新京特別市社會事業聯 個、新京特別市社會事業聯

勅語記

全滿靑少年學徒の記念行事

11

父兄會長辭任

愛嬢忌明に

二百圓を献

宮本友一氏から本社寄託

追答に
変し
度し
と
追答に
変し
度し
と

軍警慰靈法會

一 の方針を決定するため兩組 に 合役員三十餘名参集けふー 合役員三十餘名参集けふー な子堂に於て合同座談會を 太子堂に於て合同座談會を が の推移によつては組合解散 の危機にまで導くやも知れない頗る險悪化した雲行を 親した小川中央通署長はこか の日午前中新京旅館組合展 五味武太郎氏並に杉山新京 を が の日午前中新京旅館組合長

小川署長談

五味組合長談新京第一ホテルの出現は お前衛第一ホテルの出現は を関連し、一大のである。 を関連するが如き態度にいさくかれてる を関連するが如き態度にいさくかれてる を関連するが如き態度にいさくかれてる を関連を開催興論に訴へや を関かれて自衛對 を関かれて自衛對 を関かれて自衛對 を関かれて自衛對 を関かれて自衛對 を関かれて自衛對 を関を関を関を関することを を関するが如き態度なり を関を関連に訴へや を関するが、一大いに を関するが、一大いに を関するが、一大いに を関するで、一大いに を関するで、一大いに を関するで、一大いに を関するで、一大いに を関するに を関することと

国 清解決するでせら のもなく了解した、近く のもなく了解した、近く

時産事管公社の代表者及び 特産事管公社の代表者及び ・特産事管公社の代表者及び ・需品配給を應急的處置とし で左の如き要領により配給 する事に決定した(但し日

問

聲で、暗雲去る

3

遠乘

つて小休止ののも正午再び 報上の人となり淨月潭池に 対着、遙か淨月潭池を見下 す草原の丘上で野磯料理に 職場を偲んだ5へ午後再び 職場を偲んだ5へ午後再び 職場を偲んだ5へ午後再び に相しを終へた【寫飯

追悼會は生

しめ全滿各地の代表僧侶 特會は午後二時から國都 か、第二日十七日の英靈 か、第二日十七日の英靈

で盛大な式典を

반

部の淨月潭遠乘會は、大陸を養はうといふ關東軍司令 東軍將星淨月潭

|左右に眺めつゝ街から||中央農事訓練所農場横に至青く崩える草原の起伏||中央農事訓練所農場横に至中、海りを鎮りを鎮一文字に南||村へ颯爽の勇姿を進め 協和學校少年

あす新たに八

表き希認を未來に背負ふ協 年の啓蒙運動に努めるとと もに國意精神を張瀾して國 とと 新京二中 (三五〇) 同第

行ふことになった 行ふことになった

華北村長團 滿洲勉强に

宝町小學校は十七日創立記 念日を迎へたが朝禮時に校 長の訓話があり、同日はそ 長の訓話があり、同日はそ 日の秩文宮殿下御來校記念 豫定である【寫眞は驛濟前八時十分發哈爾濱に向 室町校創立記念

病務兵尉問に帝贈し少大の・ 意太氏は曩に明治天皇御製 意太氏は曩に明治天皇御製 に本並を通じ皇軍慰問に傷 に本並を通じ皇軍慰問に傷 中村彦太氏篤志

農村滿系へ

配給委員會

あにて東上 画と連絡のため十 のにて東上 満鎌

八辻支社調査役八辻旭、「同秘書保主任服部虎雄氏、同秘書保主任服部虎雄氏、日曜は約一週間の豫定

之候間左記へ御運候間縣人 大候間左記へ御運知被下度候 十八日午後六時 五圓也

急告

(日本語の話せる満人も可) 電氣係男子(日、満人何れにても可) 希望者は自塗履経書持参のこと 市内に確確なる身許保證人を要す 市内に確確なる身許保證人を要す 新京三笠町 生作居同 年齢二十八歳位迄 生作日同 年齢三十歳位迄 大検手同 年齢三十歳位迄



新京日日新聞社庶務但し夜間十一時より出動翌朝八時迄但し夜間十一時より出動翌朝八時迄

寸衛募集

務に屋

通度

す何卒舊に倍し御引立の程を御願ひ申上げます致します、二十二日よりは味も一流の腕き」を鳴出し即席一品料理を致す事になりまして十六日路面 弊店儀ながらく御馴染を頂きました「おで格面 弊店儀ながらく御馴染を頂きました「おで 雪方二五歳有妻、會計庶 雪方二五歳有妻、會計庶 ます。せんか御伺ひ中上げます。せんか御伺ひ中上げます 電話(三)三五七五

系會員 國婦の新し 宣傳 い試み -

展謝を受けてゐるが、十七 日夏に同册子五百部を本社 に持参、近ぐ行はれる忠靈 季大祭神服に行はれる忠靈 大會學會者に頒興されたし と寄託した

0

男子 常 交 经

內地人女子年齡二十五歲迄

古手屋八郎兵衛(中西生御所櫻三段目(永添清風

京警會洋瑠璃の同野者の集り 京藤會主催淨瑠璃の同野者の集り 京藤會主催淨瑠璃大會は十 八日、十九日の兩日祝町太 子堂に於て開催する、入場 無料一般の來場を希望され てゐる、開演午後六時、ブ

◆初日(十八日) 御祝儀養入舟(入 登) 御祝儀養入舟(入 登) 香原四段目(中村一躍) 台。ケ 森(畑菊野) 忠臣蔵六ッ目(稲木有陵) 忠臣蔵六ッ目(稲木有陵)

京茨

城縣人

會事務所

本思

大烟槎東場所

陸藤 倭小番若立八 取 奧 / 戶神瀬田方 租 里川 岩岩山川野山

中古自

動車解體品

前行洋林秋通橋本日

三五五五(3) 話配

察身獨含官用代六篇

(裹部業產) 內寮湖南

古部分品販賣

自動

車便利社

電話 (3) 五八八四 アジアタクシー英連 新京梅ケ枝町四ノ一二

田田

使用

不可

能自動車

名出 富綾 鮭相 佐藤 巴四 佐十 寄羽士: 7 模 賀 / 海 凌三 岩湊 嶽若 里川 花里 潟波 島錦

す

八日 照男

和瓷

食動高に結面の負債新規目

本第不期青訓生入所於首都本部青訓宿舍中前十時より 本部青訓宿舍中前十時より 本部青訓宿舍中前十時より 本語新華會宣德謹情部會 2. 一部一時より 本語新華會宣德謹情部會 2. 一部一時より 全語系幹事會宣德謹情部會 2. 一部一時より 全語系幹事會宣德謹情部會 全語系幹事會宣德謹情部會 全語系幹事會宣德謹情部會 全語系幹事會宣德謹情部會 全語系幹事會宣德董情部會 全語系幹事會宣德董情部會 全語系幹事會宣德董情部會 全語系幹事會宣德董情部會 全語系幹事會宣德董情部會 全語系幹事會宣德董情部會 80字晚6放送

御天う 料婦な 御て御本に替の 試開來場氣る相 し店店仕分と生 下致を込の同で 理羅ぎ さし御み好時でいま待のいにざ ますち板落店いし是申前付内ま て非しをいもす 御一て揃た大 話東

批废居~店改 評はままと造 い店すし致を た内 てし加 皆様の御 NO き度と存む 古神社 生 御口 E

3

條三通

八稻

總て

電 (三) 四 三〇 四

オよ

h

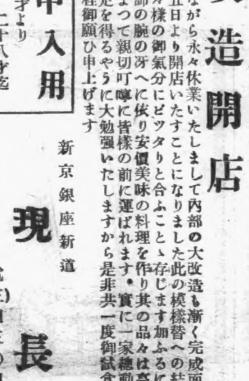
一十八才迄











銀

(チャイコフスキー 試験 行進曲「スラ 試験 行進曲「スラ

可千代ら來京前線皇軍慰問の

音樂院與演奏

十五日協和會館で

の試み

中支清南から関都に流れて 中支清南から関都に流れて 中支清南から関都に流れて もら半年にもなららか、月 日の流れるのは早いものぢ やあ、たつたこの間のやら な気がするそしてその頃の しげ奴は支那事鰻の弾丸を くいつて来たのだつて陰分 くいつて来たのだつて陰分

日本ピクターでは樂界進展 の一助として『日本ピクタ ・ 製學資金』を設定第一回 ・ を少年提琴家江藤俊哉君、 ・ その會妹ピアニスト玲子罐 に公的援助を興へ、本年五 に公的援助を興へ、本年五

本・

「大海協和

「大海 「大海 」

「大海 」
「大海 」
「大海 」
「大海 」
「大海 」
「大海 」
「大海 」
「大海 」
「大海 」
「大海 」
「大海 」
「大海 」
「大海 」
「大海 」
「大海 」
「大海 」 右 用重 局 東 見 丸 友 夫 照 丸

主

丰西

苗

いた 嫁

佐田

子 演主

陸軍省指導

征

馬

品作新の代絹中田 切封日四廿「る祈に曉」

文部省推薦

田中絹代

夏川大二郎



郎 極め附け大河内の 川口松太郎 11を篇樂娯の

佐分利信 (報) **近**



とだから、御如才

先生の

のであつ

・先生。勘太は、

郷をかけて 原大丈夫で 東い 棚幕

つて來まする

勘太の首へ

生十九八七六 五 月月月月月月月月 展園限服器限限

を記されている。

1,14

12.00 2,50

十万日より五日間 料金60銭 祭日日曜日は11時開映

二十日より 我が子の結婚・御存知東男

第十四回督民宏票中影號廣

我帮中影號碼到下自廣觀七年五月二十二日 絕差

Ξ

HISE THE SHE

伍检测 (2)

31,544

31.546

爱 百 器 (23)

3, 182

3.849

9.043

9, 102

10,579

15.9A5

16.816

W.

25

李王癸十組號撤相同)

8

日本 日本の名を これの日本

余万 間*(2)

34.117

31,119

19,455

No. Table

章 百 数 (2)

18

品市沃

3,04 7,04

1,34 4,24 7,24 2,50 5,50 8,51 10,05

17.042

19,436

22.157

22.914

24,524

26,497

26,745

27,045

28.618

29.890

30,140

34.045

36.240

4 1. 7 9 8

48.478

五拾 1 (48)

2,615

ぬは、一トロに、グラスきく一つ首首いて、

行は、

千住を指して

飛出し

經

濟

部

数

行

N ...

うな下手はすまりなものだかし

んな心配は要ら

筋縄で

▲紐育株式

女性の段宮本武藏

7

7

マン

伏見信子

海江田護二

八八八九九納九 柳鄉仙仙仙 七三九〇三 八 六九二三四會六

勘太ぢやありま

生!

(24)

西

志

紐 福 同 倫 翰 敦 金 光 樂 塊 鬼 物 塊 塊 地

畵 助

每外徑

杯を飲み干

師十郎が訊ねる。 彌太五郎が答へる。

ころだし であは」 はど、左側から

然で 釣り答せて、一品を 安五郎殺し

らの卑劣な魂膽であつ 神一郎の、最初を の河岸の河岸

新京吉野町一丁目 電③五九七七・五六0四・四二0八

る日 坤と辛と西が吉して實績の之れに伴はざ

脚 記 -16

西曜 日八十月五日二十月四萬

4.440 4,478 4,963 5.723 7.642 7.677 8.042

8.143

8.795

12.569

12.847

12985

13,101

14.496

16,822

17.506

17.737

17.868

18.693

21.450

21.548

23,125

23,441

25.762

25.948

26.419

28.263

28.831

29.061

30.294

31.058

34,698

39,037

40.505

40,610

43,986

44,218

44,767

45,463

47.67.6

49,038

49, 167

49,538

拾 篇 (246)

720 4,885 1,048 5,852 1,151 3,852

75

1,230

1,289

3,340

3,642

4.065

妻よ何處へ行く 市川三郎 照る日くもる日 十五日より十九日まで・階下一圓

9,372

9,367

9,830

9,930

10,165

10,211

10,251

10,380

10,928

11,785

12,459

12,494

16,825

17,496

17,823

18,029

18,861

18,260

18,500

18,688

13,588 19,310 26,306

13,807 19,328 26,443

18,562 24,068 18,580 24,158

○神尾大八の顔を、デロリ牌十郎は、さういつて訊ねせ、大盃を右手に取上げた

ふのは」

そんな大金が

兵の體を、床柱にもた

かつ

勘太は來

11-25 3-15 12.26 4.16 8.11 9.06 10.30 1.21 次週廿日より・巴里祭・不良青年

45,590

46,069

46,577

46,910

47,661

47,999

t

410 577

1,041

1,123

1.144

1,194

五 篇 (670)

30.361

38.465

38,927

39,800

40,044

40,450

41,322

32,699 38,494

28,431 34,061 39,580

25,111

29,559 35,161 48,734

29,755 35,566 40,873 29,979 35,650 40,883

31,475 36,853 44,153

31,492 36,926 44,216

28,500 34,369

23,482 29,169 34,534 40,128

23,544 29,374 34,680 40,174 23,775 29,398 35,002 40,339

30,435 35,662

8,400 15,466 20,825 27,440 31,923 37,890 8,758 15,599 21,065 27,742 32,028 36,042

16,002 22,225 27,832 33,063 38,509

16,387 22,248 27,866 33,228 38,565 16,612 22,577 28,228 33,330 38,644

16,758 22,903 28,381 33,795 39,284

29,548

8,818 15,685 21,468 27,756 32,298 6,822 15,815 22,056 27,762 32,441 6,895 15,910 22,170 27,765 32,699

9,522 16,691 22,628 28,268 33,785

22,991

23,140

23,806

24,212

6.251 13,013 18.726 24.503 30,539 35.725 41,472

6,343 13,155 18,821 24,647 30,593 35,805 42,154

6,404 13,266 18,997 24,937 30,746 35,840 42,177

6.907 13,544 19,025 25,606 31,188 36,318 43,536 7,218 13,575 19,095 26,111 31,354 36,622 43,594

7.834 14,392 19,763 26,535 31,543 37,418 44,785 7,971 15,238 20,199 26,974 31,573 37,685 45,070

8,208 15,342 20,620 27,068 31,726 37,747 45,515

17,003 23,028 28,501 34,174

11.0) 2.5)

(主即目)

太に遣るつもりで、

な……時に先生。あな

雷むる

★ 東 180% 181% 密付 大引 密付 大引

12-25 3-50 7-20

1.40

5.05 8.35

福

曙町四/

く安く配達迅速

支那一品料理

ゴムーの

各地株式市况

9,460 13,334 15,799 18,921 21,374 23,495 25,463 27,580 30,091 32,642 35,367 37,729 40,831 43,832 46,241 49,111 9,564 13,356 15,850 19,049 21,417 23,516 25,485 27,609 30,268 32,712 35,397 37,947 40,987 43,872 46,339 49,179 9,686 13,420 15,932 19,072 21,571 23,527 25,560 27,704 30,351 32,736 35,609 37,997 41,034 43,947 46,377 49,250 48.131 2,557 6,293 45,810 48.428 2,618 6,631 48 (80 2,652 6,681 9,700 13,574 16,086 19,093 21,585 23,545 25,639 27,764 30,523 32,915 35,723 30,027 46,119 48764 46,630 49,043

合組店賣販票彩民裕 41,037 43,959

滿洲與業證券株式會批)

新京特別市大同大街三〇五 新京特別市興安天路一二〇 新京親町三丁目十七番地 新京老松町三番地ノー 新京日本橋通三五番地

滿洲國官吏消費組合 金 中 泰 井 Œ 百 洋 貨 店

12.00 S.18 12.00 4.08

1.40 5.18

で 料金50セン たのしき我が家 想要うきよざむらい 指輪のわるつ

B

空

東一條通銀座新道スロニュウシンキョウニュウシンキョウ テイチク専属 日活 0 大ス 4

一十四日封切豫定 する至 高 帝都







日公開

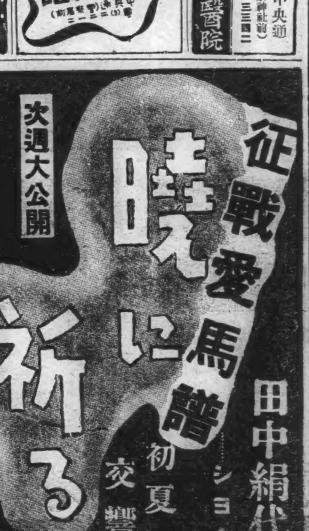
映畵ミショウ



水

17日より19日まで

港



洪 主

たものであるが、

産業の 認 朝 手以 【頁二十刊夕朝紙本】 動 設行所 AAA 東京本部所は 東京本部所は 東京本部所は 東京日日新聞社 東京日日新聞社 東京日日新聞社 東京日日新聞社 17 8 ニーサー 清高級 洲多 郵政企畫 全議野政 信に開催前日審議未了の三 時第三日の十七日は前日に開催前日審議未了の三 作に併せ請願通信施設の强 作に開する件を討議、午後 動

最高技術を總動

曽困に悩み続けて来た日滿經濟界に一大期報を齎し 阜新に於ける世界的大油田の競見は従来石油資源の 心とする斯界最高技術を總動員して所要設備を急造 政府では直ちに滿洲石油會社を中

を必然的に要請し本格的採油に着手されれば産業を必然的に要請し本格的採油に着手されれば産業を必然的に要請しる。 してをり、控油狀況と睨み合せてこれが具體化をみ政府では石油を中心とする一聯の新計整樹立を意圖

山司長も阜新に赴き準備を進めることとなつてゐる

るる補石會社の事業擴大に伴ふ同社規模の坍强れは直ちに滿洲に於ける石油開設事業を專行し

る模様であ

南寧作

戰

に

上聞に達す

及川司令長官の感狀

〇〇聯合航空歐海軍少將 當時指揮者

室時指揮者 及川古志郎 極めて大にして武勳顯著な 支那方面艦隊司令長官 を美を收むるに密興せる處 を美を収むるに密興せる處 を美を収むるに密興せる處

までの支那事變酸況の概要 五月十一日以降本日に至る 五月十一日以降本日に至る

孫其昌、丁鑑修、清原範益 せられ、参議数は從來の七政府今次の大異動に依つて の三氏が新たに参議に特任

府機能は著しく

現在漸く農政

一、新たに参議に特任せられたる三氏はいづれも建 してゐる練達堪能の土で あれば、現在滿洲國がそ の本然の姿である土の政 治に移行しつゝある折柄 とて諸般の國策運營上入 いに民意を反映せしむる だらうことは當然理解さ

一、多議府機能の強化は個人大きなり、これは必然的にあざる程强力なる中央集権的権能を有する國際の部門別施策の偏重領域の部門別施策の偏重領域の部門別施策の偏重領域の部門別施策の偏重領域の部門別施策の偏重領域の高速を表するととなり、これは必然的ととなり、これは必然的ととなり、これは必然的となる。

機能は著しく強化され 滿洲國政治が

高的移行をみつゝある折柄 心臓滅なる政治體勢へと全

ものとして注目されてゐ

重大作用し、王道梁土の強力化は直ちに國政一般

秘書

同長後任

り率天鍛道總局第一會議室 り率天鍛道總局第一會議室 において十五年度部、所長 下六十餘名出席、まづ 下六十餘名出席、まづ 大村總裁より約一時間にわ たつて昨年度事業の賞績第 たつて昨年度事業の賞績第 たつて昨年度事業の賞績第 たって昨年度事業の賞績第

日午後一時より首相官邸 日午後一時より首相官邸 八首相以下出席、柳川總務 八首相以下出席、柳川總務 長官、鈴木政務部長より阿 長官、鈴木政務部長より阿 長官、鈴木政務部長より阿 長事大使特派後の國民政府を

改正かが

財產法

答禮使節歡迎

一備打合せ

最適人材を銓衝

高太郎氏は目下東上中であ であるが1十日頃降任の豫定

中心とする最近の現狀を雑年して打合せを行つた

佐野モー

7

豐

新皇樂路 王路

とてこの度の参議府機能の

をなしファシスト計畫事後 マーマの紀元節「エチオピローマの紀元節「エチオピローマの紀元節「エチオピローにヴェネチー

業部大長に榮曹した結 持城産業部次長

任の豫定

省長章煥章氏は六月上旬赴外務局長官に栗轉の前濱江

動乱の歐洲

なほ秋木俠氏の離れなほ秋木俠氏の離れなほれてある。 就任と同時に空席と 参議所秘書局長の後 を選をもつて進むべ 人材を慎重釜衡中で しはれてある

あると 大局長 大局長 は

章外務局長官

六月上旬赴任

一、現在の施設機構なら がに人材の活用により勞 務能率の向上

山七三郎氏は十七日挨拶に 新統道警護本隊長著 新統道警護本隊長著

本格的採油に着手することとなり、近く風早鑛

び那方面艦隊司令長官 昭和十五年四月廿七日 昭和十五年四月廿七日

鄉窓

敵九十軍の本據に進攻

敵匪追擊

山岳大殲滅戰奏功

西部

小

の本據郷寧縣城(山西省)の本據郷寧縣城(山西省)の本據郷寧縣城(山西省)十軍後八時相前後して献九十軍

わが電響的進撃に浮足立つた敵は逸早く郷寧縣城の暴遊の跡も生々しく至の暴遊の跡も生々しく至の暴逆のからは所でながあるところ破壊されさながあところ破壊されるながあところ破壊がは所に対しているところない。 しが至軍既つ城立

し、更に同地北方及び西方 一の敵六十一師の二千を猛攻 一で、山岳大 走の敵を急追中で、山岳大 で、山岳大 で、山岳大

文武官に敍勳

最近

入

敵軍民間に和平

氣運漲る

報道部發表

日午後八時敵九十軍の本據 東方に急追中で、一方高浪 東方に急追中で、一方高浪 東方に急追中で、一方高浪 東方に急追中で、一方高浪 本、中津の各部隊は同縣城周邊の 本、中津の各部隊は同縣城周邊の 大下に進出、伊東、瀬戸、徳 位、白石、古賀の各部隊は同時刻 松柏嶺附近の頭敵を繋碎し江 大下に進出、寺木、松本、永 本、中山の各部隊は一時刻 を場合に進出、一方高浪 本、中山の各部隊は一時刻 を場合に進出、一方高浪 本、中山の各部隊は一時刻 は 大下で後四時東坡里(芬城西北 十五日 は真野福密顕明官以下六千 を 十七日附級勳の御沙汰あら 十七日附級勳の御沙汰あら は真野福密顕明官以下六千 は一十七日附級勳の御沙汰あら

質野 文二

武勳に餘榮

授瑞寶章 (各通) 【ロンドン十六日發國通】 浮説を一掃 日英貿易調整 藤井 并治

故岡本少將に追陞

負ひ加寮中去る十三日逝去 る武勳を樹て名譽の職傷を る武勳を樹て名譽の職傷を

等を中心に報告あり午後四将來新規計畫を要する事項

附をもつて更に從四位に裁 少將に昇進、進級敍勵の倒 沙汰あらせられたが十七日

一級被進) 正五位勵三等功四級 正五位勵三等功四級 故陸軍少將

科科院

産婦産

經濟戰爭省では十六日日本報道が傳へられてゐるが、 整交渉が開始せられるかの

滿鐵部所長

はベルー代理公使より 損害 一賠償 帝國政府に對し深甚なる陳 當の措置を取ることめた、この結果ベルー國政 一層の努力をなすこと 一、今後日本人保護に對し 一層の努力をなすこと 一、今後日本人保護に對し マの排日べ 期待される松木次長 を 承諾 協和會企畫局長を辭任か 一政府陳謝 後任に蛸井現副局長有力

た後强三會に會企政 如勃鍛せる排日暴動は 日夜に到り殆ど鎖懸さ 「東京發國通」ベル

ベルー代理公使に對っ て重視して暴動勃毅と に有田外相はパーラス

関政百般を掌理する總務廳
期待されてゐるところであ

が突如越境使人し來り折柄 能江上に於てソ聯の警備艇 が突如越境使人し來り折柄

り、將來これが兼務を繼續

縣小子市居住の滿人漁夫鮮 昌和及び同趙鳳絲を抑留、 静と共にソ聯領内、拉致逃 走した

たれによりリマ排日暴動 なられる 件は一段落を告げたものとこれによりリマ排日暴動事

日本人の被害に對しての調査に基き決定したの調査に基き決定したる金額を賠償支持のたる金額を賠償支持のたる金額を賠償支持のたる金額を賠償支持のできた。 の昇格か、

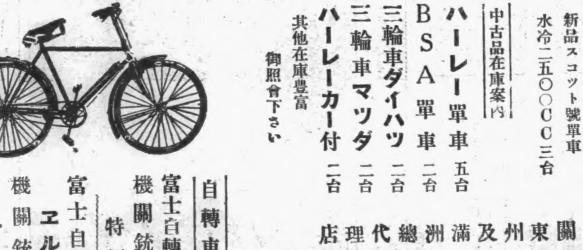
ツ聯兵又も

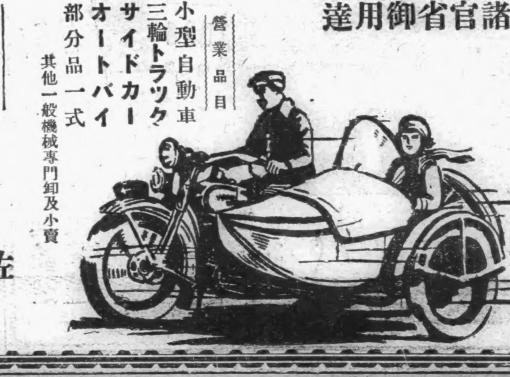
不法行為

機 富士自轉車 關銃號は 價販

自 轉 車 部

一七路樂豊京新





富てたという

正值上

では同聯合會並にその所属 連合經費に充當するため今 型点を選集に表當するため今 が制料を徴收すること」な が制料を徴收すること」な が設く關東局當局の認可を 一個差の如く組合分擔金並に を取扱商品にして大衆的 一個響要があり、從つて大口

面米穀小賣店の個在により ・ した上賣情しみによる闇収 した上賣情しみによる闇収 ・ した上賣情しみによる闇収 ・ こまり光づ配給機構の整備 ・ により米不足を緩和せんと

は、質力ある大物を要所には、質力ある大物を要所には、質力ある大物を要所にないが、たとへば呂榮寰氏ないが、たとへば呂榮寰氏を民生部大臣に据ゑ、子響を民生部大臣に据ゑ、子響し、結城清太郎氏を産業部大臣に据ゑ、

があり、從つて、聯合會所

- ッチせしめた配給方策を樹

との折合をもつけることと 配給の適正を圖る一方業者

新京神社南橋

しま

の外交へ

を持つ緊實重厚の士である 外務行政に於ても高い見論

土である

れる章新長官

館機構改革整備問題、駐日大使

防人民委員ウオの防人民委員ウオの

はれば前

経歴の示す如く、他ち、

野に一大センセーショ 心知るところとなり英 登族が秘帯権に逃避を されたことは耄に一般

意向であるとは をはばずべき筋よ

ヘンにのの

注を近けて加本が七六で更い至累が年德多出ま来

田 に對して何等干渉の意思なたわ に對して何等干渉の意思な さものと信ずる旨を報告し であるので、結局十一日の 作、脳、獨の各交戦國に依 のて全面的に承認されたわ

は午後五時次の如き情報部は午後五時次の如き情報部は午後五時次の如き情報部局人使は外務省に有田外相を訪問し去る五月十一日同外務省より停大使に対してなした関領東印

質施に著手する

負擔均分

「奉天十六日**愛**園通」奉天市では米 配給の **西**滑 を期するため來月中に米蒙共販

給量の温少に基因するが一昨年率天市中の米不足は供

出金貨幣

(南京十六日砂園通) 國民政府の憲政實施に關しては去る三月廿二日中央政治會議に於て連かに憲政實施委議に於て連かに憲政實施委員會を設置、これが質現に選進すべき旨決議されたが至首席は十六日の中央政治を員會議に憲政實施委員會議に憲政實施委員會

米穀

0

天で來月中實

特に注意されればならぬと 特に注意されればならぬと をでする。 両者を機 しなければならぬ。 阿清を機 しなければならぬ。 經濟統 である。 両者を機 である。 両者を機

されて申出及び出願事務が 地上資源開發は一股と を兼定で、これら老大な を推上資源開發は一股と が上資源開發は一股と ものと期待 ものと期待

居り、昨にといふこと

神央と地方との人事の変といふことは、その必要といふことは、その必要といふことは、その必要的もが見られてゐた。今別とが見られてゐた。今別に注意したと思はれるのがあるのは結構なことといるらう。しかし中央といるらう。しかし中央といるも両じ一つも地方といふも同じ一つ

頻業熱に浮上る

在

滿

日

本人教育

0

新

體

制

强

督學機能に重要性

平度において闘東州のりからした意味かるもので知行と根本観念とするよと表するようで知行とするようなに繋がるもので知行という。 州から行の数

辭基旨雜國才

0

記念碑條約

工事捗どる

代用粉原料 生産機械化 生産機械化 製粉界の現状に鑑み日蓮 粉では高柔、包米の代田

北浦田樹と と廿來和こ重お讓の

一般農産品の加工及

計畫中であつたが、去る四 月二十六日の同社總會で企 業開始に闘する正式決定を 見るに至つたので態よ本年

機關と打合中であるが行く坂企饗課長が目下現地關係坂企饗課長が目下現地關係

物増産計畫に對應したもの 強定であり、政府の最産 び審産方面にも事業を擴大

下分の三 商品に比較して大口需要なき商品に比較して大口需要なき商品の輸入並に満調な外への輸出に際して大口需要なりの五 無料救濟

學校教育と中等學校教育と中等學校教育と中等學校教育と中等學校教育と中等學校教育と中等學校教育の外容の一貫せる一線を描くことは更に一層の重要性を以て登場してをり、督學機はであらり、智學機 北海 丸處女航 航する大連汽船新造船北海 大連一天津航路に新たに就 大連一天津航路に新たに就

に

総経合 出入収 に並被

勢をとるものの如くである 等の諸項について積極的態

段の

中銀帳尻左の如し(單位千中銀帳尻左の如し(單位千 金工務處土木科長 水力電氣建設局技正 水力電氣建設局技正 外田弘四 金吉林工程處土木科長 本大連株式〈短期〉 五品 景元 景天 大 新 号录 名言 各地株式市次 九九二、三六、七三九六、二二人、七三九六 後七 施工、完璧 樂品、卓越 話







今國滿洲國政府が行つた上層部の人事異動には種々の意味が含まれてゐると考の意味が含まれてゐると考の意味が含まれてゐると考の意味が含まれてゐると考に置くといふことが大きなに置くといふことが大きなに動目となつてゐることは間にかにも二三の特徴が窺はれるのである。中央と地方との人的交流もさらであるし、政府と協和會との人間の交流もさらである。中央と地方との人的交流もさらである。中央と地方との人的交流もさらである代りに新進有為の人材の交流もさらである代りに新進有為の人材の交流もさらであるのであるである代りに新進有為の人材の交流もさらである。

ではならぬもので所者の難一 観からこの根本命題についてない。 本理念から發足し八数一字 められるもので在滿邦人教育の一面 本理念から發足し八数一字 められるもので在滿邦人教 の大精神を駐訓としなくて 育が徒らに即地教育の一面 が大精神を起訓としなくて 育が徒らに即地教育の一面 を理念から致足し八数一字 かられるもので在滿邦人教 の大精神を起訓としなくて 育が徒らに即地教育の一面

ないる。 ないでは、 な

校の强制入學制度の實施に校の强制入學制度の実施制造びに青年學

よる教育制度の確立、

貧困罹病者に福音

近く基礎工事に着手する段 怨の環理條約部結の解緯を記 郷の環理條約締結の解緯を記 郷した彫字も大體終つたので 粉

憲政實施發

委員會組

織の

大綱成案

総出に際し従債 総入並に滿洲國

日下来京中の二科舎の中医 で四日間に亘つて三中井百 で四日間に亘つて三中井百 で四日間に亘つて三中井百 で一次で開催 で一次で開催 で一次で開催 田中忠雄氏畫展

したらへで指定された勝 院其の他に入院させ 電局がその所要經費の全免 或は補助することとなつた が亡國病を一播健康新京の 完態を期するものとしてそ

五月十六日附(各通)
五月十六日附(各通)
中島龍吉
中島龍吉

東安省理事官

宇治茶と世帶道具の店 *標河

8

0

つまれられたそ 始める いっからは はばなららない とからは

我々が父母に似るのは職就や性質や頭腦の働き をばかりではなく、身體 が、點のあき具合、腕 のであります、黒子のあ る所、點のあき具合、腕 のあります、黒子のあ のあります、黒子のあ のあります。

もとより人間は身 後たけのものでなく、愛妙なる精 動の側がありまして高き道

然し世間は妙なもの然し世間は妙なもの て果りで、

まして、 | 国軍がゲームを争 まく延びた被話な人であり よく延びた被話な人であり

もなり、にあった。

関でありまして、お互生れてしまつたものに取つてはこれを強もどしにすることは出來ませんが、これから生れる人に取つては良き體質は其の生命と重大なる關係のある事は明かであります

よ良き體質 八命にピ

すれならぬ事と存じます、 をもないよく をもないよく をもないまして、主なである者に をもながいる。 をして、主質の心。 をもながいる。 は関する者を選ぶいる。 をもながいる。 をもながいる。 をもながいる。 は関する。 をもながいる。 は関するがいる。 ははないたが、 はないたが、 はないないが、 はないないが、 はないないが、 はないないないないが、 はないないが、 はないが、 はな

株 人間にして始めてあり得るかなる事は極めてまれにあるのに十分の考慮が場合でありますがるを事が出来るものが表して表して赤い血の流れて居を事が出来るものかと言ふを事が出来るものかと言ふを事が出来るものかと言ふを事が出来るものかと言ふを事が出来るものかと言ふを事が出来るものかと言ふを事が出来るものかと言ふを事が必ず若い方々から起るで論議を重ねやうとはいたというない。

乾温点機中古カミラ売買

本間に此娘さんが先頭に立って大きな手で一撃を加へって大きな手で一撃を加へますと、大概それで勝負かきまる状態でありました、きまる状態でありました、手常に人の注目を溢きました、丁度其處には陸きました。丁度其處には陸

全體としての健康美に人の 注意がうつりかけんとして 居るものと見てよいかと思 ふのでありまして國民の體 格の上から考へ良き素質を 格の上から考へ良き素質を に喜ばしい傾向と存じます

コーソウ醤油

国 満 ± 號 西区立馬姆北國四丁目(董傳前)

5

ン撃に獨る後所光れ マ作攻逸まのを石は 1歳めかすあ猛火敵 ノルウェ、 たのもこの た。その な 1後のン

(七の共)

リノリュームの切場を勝が出たら、それを適當 物が出たら、それを適當 物が出たら、それを適當 のいたり汚れたりすると、痕がありません、又手エとがありません。又手 スカイン・で変にすると、痕がはないでは、 で変して これに対する で変して これに対する で変して これに対する という で という に かい という に かい という に いっぱい に に に いっぱい に いっぱい に いっぱい に に いっぱい に いっぱい

家

庭

×

Æ

引越荷造

送店

ナマンド

「設解事時一

撃作戦さ 何

?

家庭以外 にあつては妻や子の存在 を忘れて仕事に專念しな を忘れて仕事に專念しな を忘れて仕事に專念しな を忘れて仕事に事念しな でせら、なだれて仕ばならい。これ

立板に水の塵待、この姑娘獨逸語から實は英語を喋つてゐる所は見た事がなず、プレイン、プロム、フーサン、 の伊太利語迄話で

北京站(驛)は五つの機道の設定の一次車に乗らなくてはならないしたこから来るのにも北京行に乗るのだからダイヤグラムを一通の明晰な人でなくてはならない、その上き」に来る御客様は支那人と日本人、たまには西洋

は第二ホ

自動車用品 庚辰洋行 在庫豊富 新京水井町三八分十時)

新京郷療法療院





季節向の

味噌汁









辻の紅炎は健康の基



內貸小諾 積資本 外付口預 立本店 賃制預 金金 複 **考信多千七百拾五萬四 考信圓(全額拂込済)** の御取次さ。内地への組替へも迅速に御収益致します小口預会十四より、定期預金百職より、実施内場到金 景京日本描通三十





品質優秀







若 奥樣 は 何 を 惱 ים

?

卣

盲

金く

計 腸

4 炎

醫

結婚生活は甘くな 0 談に反映する世 0

◇…のよき相談相手である中垣和子女史に、現代女性の…◇◇…とする少年少女、或は一般の智能檢査や指導に當つ…◇◇…とする少年少女、或は一般の智能檢査や指導に當つ…◇◇◆ののようとする子供、職業験線に踏出さう…◇◇

0

雅かしい境選にあつても をます、男の方はどんなに えます、男の方はどんなに えます。

はつてくれ、かさつてくれなくなると忽ち天地がひっくりかへるやうなショックを受けてあわて惑ふのですを受けてあわて惑ふのですが、製さんですが、鍛へられてるないだけ何か事件にでもぶつつかると醜いほどの場へたり騒いだりします。そして「自分はこれほどー生懸命に夫の事を想つてるるのに」と不平を云ひますが論結婚した以上夫だつてなりませんが、男にはなりませんが、男には

は小さい近畿限的な愛になりませた」と来直にかからいふことを諄々と大きな愛に立て夫をいたはり聯ますがあらいふことを諄々と大きな愛に立と大きなを記しますと「よくわかな話しますと「よくわかな話しますと「よくわかない。 を 次然起つてくるものです。まづ胃の違かのです。まづ胃の違かのです。まづ胃の違から勝の周囲にかけて重治るかと思はれるのですが排便後も尚痛み去方ず二、三時間後に右下腹にも痛みが起つて来ます

ら忽ち現實

ない娘をといふのぶして さんないないないといふのぶして さんない まん は間を知られて 数年前まで

料理の献立

光分の安眠をとる

の夢い石絵で洗つて常に清水にし白粉を濃く蓋るやりなお化粧は避けて外出の際は極い粉化粧位に止めます 要です、局部は良質の刺らこれは根本的な治療が

> 寶 山前

をしてゐる人が多 随分人知れぬ苦終 随分人知れぬ苦終 0

は な 1111 大切です、又唐辛とカイ大切です、又唐辛とカイトのは 大血を促しますからよるしくありません りょうしくありません 1 4 台族が必

手當を誤らねよう

時には胃の症状がありますとして 特には胃の症状がありますとして を変元のでは、 を変元のでは、 を変元ので、 を必ずが、 をのいるで、 を

春になります さあこ

3

ん迷す

症治主 中脚神胃婦陽高類陽人簡重風氣痛納病炎歴史小か男むね神野ななれか変ない。 時表情一つで前と後とが巧いですね。ローゼが いと思ふね。その監賞に編ったとしかながいですね。ローゼが は終めでいてすね。ローゼが はなったがでする。ローゼが はなったがあるだらら、あの と

くつながつて居る機たね。 所し何れにしても虎の中の 病氣の奴の日で閉く所があ ったがあれなど馴れないこ

だらら。

▼宮川 勿論ですとかく生めよ殖せと 所がそれで、人口 な、誰とでも続け な所もない、でも

おのある薬器を客越した」と云ふからバリも出る際だと

名門らしいですね。 名門らしいですね。

(野球無き場合) 三、二九(新京)國内アナウンス二、吹奏樂 一、歌劇「ミレイユ」が ノー作曲アストアール編 ノー作曲アストアール編

と

は巧な演技

▼ 仮野 巧いらしいです

h

あれる國策映畫な

が登場して落込んで居るねれ。最後の所の婚別の様なれ。最後の所の婚別の様な藤 頻繁はッランスでせう

かっでエのドイッ語は

れも関策映豊なんだ

(出曜土)

ノエデー

イツが國策映畫を

ると云ふ譯ぢやないでせらつて國策イデオロギーがあって國策イデオロギーがあ

いだね。

それはこぢつけ見た

アメリカ映畫は

に重きを置く傾向だね た、アメリカものはスリル モンか人生と云ふものを主題 は、アメリカものはスリル モンカー

映畫にした方が得だから

イツのものはサー

バリエテの乙女」

てつまり猛鼠映蜜として儲

ばフローラへローゼンがフェーは從來のジャッタ・フェーは從來のジャッタ・フェー

ルパース) に終って

の「サーカス」「英 のは「パリエテ」それ 「微笑ひの人生」 退り るのぢやないですか。

の動物を使ぶのなら、これら、本當に馴れたサーカスら、本當に馴れたサーカス

▼勝 さら云へば最後に一ランボが早いね。

早いね。慌しいね

1ズ・アップされた、目下 8Kの宮川孝子の名がクロ 新興東京の女優陣に突如8

宮川孝子デヴュウ

いかと云ふことになると、アメリカものと何方が、アスリカものと何方が

てね…「シーコーヤ」? だね。「密林の王者」なん

ルナン (アルバース) に接吻をさせる所、其の後の薬鳴しさ、それからサーカスに出て來る堂々たる風丰、に出て來る堂々たる風丰、

1

デ オ 霊の臭さが解つて來ると思い野太郎 初めにサーカス

さらして 又スリルだけだと さられて終ふのだね

▼宮川 さりぢやないだら ら。死んだのなら首を置 く時などどさりと落ちる

生を主題にす

堂で興撃げ公演した 一時から東京の仁壽講 党で興撃が会東京の仁壽講

コラマドレートンの電響が適所適 に対主義から同役を彼女に 対主義から同役を彼女に は大谷博氏に継続の結 大名は青木英子、世 大名は青木英子、世

松竹少女歌劇



đ 3 K

【寫眞上、右はフエルナン

非常な觀劇上の参考になると思はれる、出席を願つた諸氏は都合上假名を用ひたが何れも滿洲映畫界ことにした、映畫批評と遠つて合評會と言ふものは映畫の觀方などについて一般映畫ファンにとつて巨匠ジャック・フェーデ久々の監督作「旅する人々」の試寫を機に初めての試みとして合評會を催す出席者]宮川 讚、川口 松夫、飯野太郎、勝彦、毛利久八、西山伍助 線に活躍して ある 「寫眞はそ 場面集】



ことよ、中では、大きなののでは、 なの無とながその中にあた。 なの無とながをでは、 なの無とながをでは、 なの無とながをしてるたが、中にあるがっこれとが、中にあるがっこれに変してをといる。 が切れたまりまだ子供では、 では、すると姉の第一にできまり遊びがおり、 では、すると姉の方子たが、 では、すると姉の方子にできます。 では、すると姉の方子にできます。 では、すると姉の方子にできます。 では、すると姉の方子にできます。 でいるが、また、一では、 でいるが、また、 でいるが、中に、 でいるが、中に、 でいるが、中に、 でいるが、 で 杵屋佐吉の息

世所國々技館より中編=相撲賞況(十日目)

○○(東・新・ニュース ○○(東・新・ニュース ・「東京)夏場所大 ・「東京)夏場所大 ・「東京)夏場所大 ・「東京)夏場所大 ・「東京)夏場所大

・ ま○ (新京) 歌唱指導 「満洲勤勢率仕の歌」 (指導)東山榮一(ピア ・ (中奏) 石川和子 ・ (中奏) 石川和子 ・ (中奏) 石川和子

今晩ので

(新京) 告知事項

中堅集め旗擧げ

長唄新鋭部隊を組織

マイツシャーと彼の室内では楽願 八、〇〇(新京)建國韓操 八、〇〇(新京)建國韓操 八、〇〇(新京)經濟市況 九、〇五(東京)經濟市況 九、三〇(東・容)經濟市況 九、三〇(東・容)經濟市況 大、三〇(中爾濱)幼兒の 時間 アコーデイオンと ビアノ「ヤサシイ資語」 (アコーデイオンと ボアノ「ヤサシイ資語」 でアノーマオンと でアノーマオンと でアノーマオンと でアノーマオンと でアノーマオンと でアノーマオンと でアノーマオンと 元氣よく伸びる僕等の幸福
成榮えゆく、御稜威識へて
破榮えゆく、御稜威識へて 海國日本、輝く日本 海軍日本 午後六時歌のお稽古…ダン道子

作屋佐吉の息杵屋藤吉が中 初夏の大作として田中軍雄助や福屋金太郎などの新銀 「女性本願」に令嬢船田典中堅を集めて蓬春會といふ 子の役でデヴュウするな事 長唄部跡を組織することに これは田中監督が適所適 たつた

〇、二〇(哈彌濱)家庭の時間「甜菜糖の話」 今井 件治 ・一〇、四〇(新京)食料品 一〇(哈爾濱)料理 國の楯となる若い僕等の歌

す軍艦艇、仰く僕等の胸は 希望はをどる彼の上、正し を強く勇ましく、行手を示 を関目本、輝く日本

甜菜糖の話 家庭の時間 10,110

今井伴治

C、〇一(秦天)經済市记 〇、〇五(哈爾濱)土曜コ ンサート「解音祭」(一) 楽しきスペニョラ(二) 楽しきスペニョラ(二) 楽しきスペニョラ(二) 水トラ(指揮)取野晴 (四)狂へる女(五)嘘 (四)(東・新)ニュース (東)明治神宮外苑野球 五九(東京)經濟市況四〇(東京)經濟市況 原國日本、輝く日本 世界貿易の

を行び交職時體制をとる国を行び交職時體制を必以近の一数年来いづれる

下に於て資源の輸入を促進してきてゐるが、此の統制は强固なる僞善管理を施行

を間、こ、

映畫技術 な幸

でせらね。あんなのはドイ わだつてあれよりは小さい 時でせられ。あんなのはドイ わらなのはドイ い けれども、「旅する人々」なんかは一寸しか出さない 群を設すし 時の釘を打つ所非常に良い (五氏異口同音稱數

(西山)最後のトラ

おんだ方がまだ効果を増 したらうと思ふね。 (優野ン芝居で言へば「皇帝ジョーンズ」の太鼓に で演する所だちらね。 (宮川)自動車が走つて 特殊な騒音を立てい其の 大ぎパット明くなると又 大ぎパット明くなると又 大きのシーのな弦に

〈宮川ンさう云ふ意味での 良心的な所がある、臭く出 した。

店る音樂は決して伴奏ぢ(飯野)あの中に使つて たらとても良いだらうね。 (宮川) 試寫は質に手際がいれ。あれを常設館で見 進歩を感ずるね。

(優野) 其處が非常にフェ でよらしい所だね。「女だけの都」でもさらだつたが 現實の色々の音を取入れ て映鑿の件炭ではないが、 大の現實の音を象徴的に高 があるないが、

(宮川)映嶽技術も敷段の

打 63

野事で京熊に粉し、純情ぶりを發揮する信子は、 「難声のが注意すると、「難詞をいつそ歌にからで星整層が注意すると、「難詞をいつそ歌にからで星整層が注意すると、「難詞をいつそ歌にかえて下さい」 江 F 生 n **伏見信子の京訛り**の 京 む す めー きも 0

征吸愛馬 3



の歌

江 榮 H Ħ. 譲 郎

見 信

こて るる時、 青木

彦女大いに笑ふ」

新築地園園の 滿州 東演は、その企盤としては實には、その企盤としては實には、その企盤としては實に大力等者も、三國のチケットである。そして質つたのである。そして私は、滿米の友人等に大力と、親まれもせぬ提位した。 最非日本の新劇を観てくれと、親まれもせぬ提位した。

十日の初日、午後五時四十五分開演、私等は一時間私は日本の新劇運動といるものが、如何に苦難の途によっている。そのによってこれを得々と話して悪かせるのである。

素装置と、巧妙なライトに 素装置と、巧妙なライトに かされ、少々のアラは全體 かされ、少々のアラは全體 かされが、所謂該興行 をはそれが出來ない。裸に

得る顧除しりもて新

などといふゴロッキものでし、丸山一人に見るべきものはあるとしても、他は素のはあるとしても、他は素が完全すぎて、音が全部にならず、電が完全すぎて、音が全部にしまった。元と年ら、これではアトラーでと年ら、これではアトラーでも出てる

りに悲

3

新築

補人に對して赤面

きりなく、満人諸君に向つ きりなく、満人諸君に向つ て説明のしようもない。よっしない。よって記明のしようもない。よ

持つ者達である。 元來アマットル副側なる ものは、業屋に出入りして こそ始めて感じが出るもの で、當り前に 及 場券を購 ひ、智り前に座席に坐つて 概であたのでは、解らない のである。

洋は日高に仕事を強りた。 で、自分の仕事に対して何か、自分の仕事に対してからといふもの、助手 で、自分の仕事に対して何か、たとへは で、さかした不安に胸はとざされてるた。そして何か、たとへは でるる事でさへ気づかした。それは丁度蟹 を、そして、街路樹の下裏 に工事も着々 進歩 し 續け に工事も着々 進歩 し 續け

いし、旧戸しれたかつた。

枚されずとも氣の弱し、相手は支配人

盤りに、

りに、その開差が大なる十にみられる値数とは、

容に接し得る日近からんことを願ふのでそして「偉大なる王」が速かに日譯さ

(原野人)

ボした好意からして、清水の言ひ分も務更

清水が支配人をかばふ氣 らである事は、洋にも推察 らである事は、洋にも推察 ではなからうかと思った。 ではなからうかと思った。 ではなからうかと思った。 ではなからうかと思った。 ではなからうかと思った。 ではなからうかと思った。 た、今日は履歴書でも書い た方が都合がいいと思ふん。 た方が都合がいいと思ふん。 た方が都合がいいと思ふん。

洋は、やはり支配人の策 動に遠ひないと思つた。自 分が仕事を怠けて別な動口 でも見つけたら「伊東君は 別な動口が見つかつたか らやめ度いと言ひますが」 と社長にたきつけるのは、

かくの如くみるならば、 ・ は、 は がくの如くみるならば、 ・ な が、 は が、 後の 孟子、 乃至 並 を な い。 然るにも 物らず、 といふるまい。 然るにも 物らず、 といふ が、 孟子に於ては 光子であるに終っては 光子であるに終て は 孔子であるに終て、 故にこそ左腰に 目されるのであらう。

彼の感情が態上来たと言った。すると後の別な感情が形と不言とした。すると後の別な感情が表えた矛盾は彼の表示。

支那思想原始 - 孟莊孔老の思想交流覺書

常に比喩を以て、謂ふならいに政治を談ずるに比し、 あり、となるといはずばな 情教といつても孔子の儒教 と孟子のそれとには又必ず しも同談すべからざるもの しも同談すべからざるもの かにあるは、そのが容易でも

一卷の書に補つる鰊傷の気 をめぐれる點は孔子に一致 かにあつた。中にも王侯間 かにあつた。中にも王侯間 かにあつた。中にも王侯間

して、盛んに人間を表で、出るにも劣らず、胜子に於てして、盛んに人間を誇って関事を談ずるにも劣らず、胜子に於て 一度こんな事があった。

民刑

分

工場

京

五.

「頃になつてから刺身を持つを持つて行くと、部屋の外を持つて行くと、部屋の外を持つて行くと、部屋の外を持つたが、狭い部屋にもとめなかつたが、狭い部屋にもとめなかつたが、狭い部屋には赤と白とのまだらになった派手な大漠線の蒲園が一た派手な大漠線の蒲園が一た派手な大漠線の蒲園が一た派手な大漠線の蒲園が一た。その

向つてゐた竹内が白粉劇手 感しいものを見るやりに都 との色つぼい空氣と色彩を を見るやりに都

ボ子と孟子とに共通するものがにゝにある。即ち何れらがそれが王侯であらうと をもかくそれらの間に介在 し、乃至は審貪した、とい ふことであり、一方が関事 に大言すれば、一方は人事 に大言する、といふ風にで ある。

一四番地

生。从

にカイロ

る人生概、と

迷つた。迷ひ乍らもどちらかに決定したかつた。彼のかに決定したかつた。彼のがに決定したかつた。彼のないで、彼のでない方へとなって東のであた。彼は知らず暗い方へ暗い方へとがいてゐた。そして「早く やらに仰向けにころがつ下宿に歸ると、彼は枯木 が……それで自分では言ひが……」 が……それで自分では言ひ 難いから、君にさう言つて くれと仰言るんだが……」 流石に清水も言ひ乗ねる れるとやはり新なる衝撃があるが、さらはつきり言はあるが、さらはつきり言は は、突然君を解雇しては君は、突然君を解雇しては君は、突然君を解雇しては君は、別な動口が決つてから 「さうだ。しい意同でせら よ」と清水が隣室から摩をかけたが、洋には寧ろ、好意から來るその言葉も、今となつてはかへつて腹立たしく感ぜられた。 なら、誰でもが默從するのは當然の事である。 は當然の事である。 の見に遠ひないと睨ん

た。
して自活の映霊館に
たっそして目活の映霊館に
たっそして目活の映霊館に
たっそして目活の映霊館に
たっそして目活の映霊館に
たったのである。
で現を生んだのである。
しても一度社長に話して見
るる必要があると思つた。必
うしてもの頃いい人が出来
たったらしく毎晩お田掛けで
を要といふより、それは寧ろんでせら、とくだらぬ事を
不不安から一刻も早く逃れた
で、彼はどう
な必要があると思つた。必
うしてあんなに夜遊びする
で、彼の焦躁の結果である。
産話で間ひ合せると、社
の品まつてゐるのを覺えた
び
ない彼の無躁の結果である。
産話で間ひ合せると、社
の品まつてゐるのを覺えた
び 向し そして、その夜の恰度九 時頃、彼は六分の自信と四 時頃、彼は六分の自信と四 時頃、彼は六分の自信と四 時で、パンガロー風の祉長 れた、パンガロー風の祉長

長は留守だつた。彼は急用があるので今夜九時頃お伺があるので今夜九時頃お伺があるので今夜九時頃お伺があるので今夜九時頃お伺い。と 出席だけでもと思つて夜學 は、さらした不安な心 では、さらした不安な心 油油を見やつた。っぱい最近では、さながらの生地は不思議な迫力を持つて彼は不思議な迫力を持つて彼は不思議な迫力を持つて彼に迫つて来た。彼は息苦したに迫つて来た。彼は息苦したが、元とり少しも譲む気はしたが、元

でないらいらした気持でした。 で数つた。 後はいらいらした気持でしていると、 を感すると、 でなっと母を吐いた。 との最大を をでした。 でなっと母を吐いた。 とのような音を をでした。 をで 「で、どういふ 理由ですした。彼はややせきこんで じ乍ら、早速用談に取って紹合よ

相 傷つけるには 充分であつ た。後は憤然とした。 で其の事は最初くどくど断 ってるた筈ですが。 にろくろく仕事も出來ない いらだ。又毎日五時前に本からだ。又毎日五時前に本

と、また鏡遊に向つて化粧上げると言つた。お釣りは上げると言つた。お釣りは五十とでながら言つた。お釣りは を始めた。

たアパートへは行かないのかると、私はアパートの女がようを製き始める頃になってあると、私はアパートの女なると、私はアパートの女はなると、私はアパートの女 や竹内芳枝の居なくなつ や西岡さ

つたらし

振替口座

侧不品粧化顶丹

ならば、藍より出でて益すそれを儲教精神上よりいふ どちょう であるやらに、心臓より出でてい 3 子を凌駕する、である。 近家思想に於て、遙かに老 がは、まなく、その がである。である。

繰り返し

分はこ

へんとなく同じ動作をしんな事をするのだらと、彼は何の爲に自

産前後三東カル

なの純情を愛するやうな顔のきをする。 からで 大変達は、さらした 大のやらなことを記して子供ぢゃないロビ 櫻女達

辰

私にはその譯が判らなか お鶴り」

んで、その 私は竹内がどち

膜めてゐると 置みとらう

古本買入。

占きを費つて

東一條通一

巖松堂古典

(3)

T.

新智識なし

とらうと歌つて竹内を、その顔からその譯をしたのかと訝かしは竹内がどうしてそん

兵隊さ

ん五分割引致します

種鬼分談の鬼皮、鬼毛を生産せ

ケット

御相談下さい詳しく御説明申上ます。常に毎!! **準滑進を妨げます、當店に眼鏡全般設に鍬を振ふも目に異常あつては能事務を執るにも勉强するにも大陸建** 他種々取揃へて御座のます 皆樣眼鏡の調子 は如 何です

p,

?



大

慶應蹴球部

本籍州 4 井上 (極中) 4 大竹 (三中) 3 山内 (四中) 4 辻 (五中) 4 辻 (五中) 4 永田 (三中) 4 武康 (三中) 中) 3 佐藤 (三中) 4 高 中) 3 佐藤 (三中) 4 高

となった
となった
となった
となった
これに伴ひ副總裁には張
首席代理、ケソン比島大
首席代理、ケソン比島大
首席代理、ケソン比島大
首席代理、ケソン比島大
で表別合長に下村體協會
長、名譽會長に下村體協會
長、名譽會長に下村體協會
長、名譽會長に下州內首
の人員約四百五十名に日本
を責として近衛公、
の人員約四百五十名に日本
の人員約四百五十名に日本
を責として近衛公、
の人員約四百五十名に日本
で表別の外に常務委員、
の人員約四百五十名に日本
でき聖典が繰り駆げられる
事等機構全部が内定した
こととなった

父宮殿下を

會總裁に推

戴

張總理も副總裁に(致)

東亞大會の

青少年

萬二千を動員する

d

愛辦運動計畫成

室勤勞率仕運動の恒常化を 既に第二十二次國務院會議 整職、播種、灌漑等の農事補 目、同作業地並に期間、各 場所、播種、灌漑等の農事補 目、同作業地並に期間、各 場所、播種、灌漑等の農事補 目、同作業地並に期間、各 場所、播種、灌漑等の農事補 目、同作業地並に期間、各 場所、播種、灌漑等の農事補 目、同作業地並に期間、各 場所、香種學生を除草、病害虫 用具の調達配分、作業の種 目、同作業地並に期間、各 の世童學生學 れに要する餐用三十萬圓も の事業學生を除草、病害虫 用具の調達配分、作業の種 日、同作業地並に期間、各 に當らせる筈であるが、こ に當らせる筈であるが、こ

大田(大) 藤山川佐藤(野) (大)

女子師高優勝 新京排球リーグ

試合の感想を語つた

四日間の

電 師女女實 高子 B 學鏡 敷島B

中國代表は五

【南京十六日登園通】東亜 競技大會に出場する中國側 競技大會に出場する中國側 選手は十五日夜左の如く五 十八名が正式決定した 就球十四名、籃球十四名 卓球四名、陸上十三名、 園術十三名 十八名

南の共同主催を體協から際 東亜大會に東京 東亜競技大 東亜競技大

弓道

も満洲凱歌

日滿交驩武道終る

福鳥監督語る

九をもつて滿洲軍が優勝し、道試合もまた八十八對七十道試合もまた八十八對七十 喜びに施士福島 金七萬圓支出の件を市會に 金七萬圓支出の件を市會に 提出中であつたが十五日開 かれた市會豪事會に諮つた 結果滿場一致可決したので 近く體協にこの旨正式通達 することになつた

た 大監督は語る 上の精神で に精進する。

【東京發閥通】東亜大會情報部で作成中の大會用ボスターは十六日完成した、このポスターは體協報道部の山川、岩松兩氏のスポーツ寫真と直江氏の繪畫部の山川、岩松兩氏のスポーツ寫真と直江氏の繪畫部の山川、岩松兩氏のスポーツ寫真と直江氏の繪畫部の山川、岩松兩氏のスポーツ寫真と直江氏の繪畫されるで大きさは菊版で一千枚を同日夜闢西へ發送、二千枚を東京市内外に十七日から一齊に配布することになつた 東亞大會ポスター

【大阪婺國通】東亜大會全 一日本選手権選(六月一日、 一日)ならびに関西大會は 甲子國南運動場で舉場行の 定であつたが都合により兩 定であつたが都合により兩 東亞大會關西陸

正式許可する等であるが 一行は渡支後七月廿、廿 日常島において全市島、 行ふ凍定で、これに満洲、 十14も参加し對満洲、 大14も参加し對満洲、 で、これに満洲、

激励号道音及奨励に努め 効励号道音及奨励に努め かいと思ひます

辻使節側長語る

上颌技塲變更

長は「東京市の御好蔵にとなつて訪日武道使節辻

場で開催さ

從つて甲子田

魔七十錢蒜

大日本雄辯會講談社

籃球リー 日割變更

(日曜土)

のリーが日割を左の如く變たが都合により今後本月中たが都合により今後本月中

n 0

の巨郎

仰一八田嘉明 大井眞太



=和田 一木村 一木村 - 邦枝完 治 6

にかや健!

はれることになった 健される豫定の陸聯競技委 球選手權大會 關東學生軟式 庭

家中で樂しめる雑誌

富

をストレートで 連覇を遂げた 連覇を遂げた 第地(改当 4 本田(中) 5 4

大讀物揃いで大評 新連載

師女師女 商日 数 高子高子 島 A A 事滿 A 2 2 2 2 2122 21212117 2121 | | | | | | | | | 1620 2 5 8 6 21 3 1 -0 0 1 0 新京排球リーグ第三日の女子部最終日は十六日午後四 時半から敷島高女コートで 左の四試合を擧行、結局女 子師高Aは四駿四勝の成績 で初の覇権を獲得した、成

元二千六百年率

指戴は近く正式決定の選び となつた

たが来る十八日横濱入港のたが来る十八日横濱入港のたが来る十八日横濱入港の

本十八日 (土) 學生部 | 第一次 | 第 見よ・銃後農村の感

都

夏

は地元は勿論遠來の應接者 に地元は勿論遠來の應接者 に地元は勿論遠來の應接者

れるものと見られてゐるが 本社はこれらのファンの為 に刻々變る途中コースの職 説を新京神社前に速報板を 設け報道することになり旣 に渡邊運動具店の手で準備

通路署同一日、四道街署六日、四道街署六月廿九日

和月一三 H

9

も等級

着中 學校

k

舍

が開く…初

0

試験制度は、丙の烙印

配し獎勵鋭意努めて来

の悪

者には"丙"の

各コ

特設速報

報道

間で質施

講習

のふ第九 のふ第九日

田巌平氏の指導により受議工廠平氏の指導により受議を対して登観を対している。

投講金於も七

弾された鑑克弾の恐る。 を實地に習得了多大のt を收めて同六時三十分で を收めて同六時三十分で

六時三十分頃終 に鑑すべき措置 説現弾の恐るべき

空襲避難演

會最終日數島

區歡

樂街

張、趙南營長の刑事除は

中

0 實

地

初らず新京消防署前庭に於日午後は四時より雨中によ全滿防衛講習會第九日十七

をを参載せしめるもので從 でを変異つた生々しい情景 の展開を強想されてゐる でも機してゐるが、この演 でも機してゐるが、この演 でも機してゐるが、この演 でも機してゐるが、この演 でも機してゐるが、この演 でも機してゐるが、この演 では、この演



黑を寄倒 人相撲東場所 龍王の殊勳(第九日)

本で へられたが、照國堂々寄倒 を示 洋は非常に興味を呼んで迎 を示 洋は非常に興味を呼んで迎 を示 洋は非常に興味を呼んで迎 を示 洋は非常に興味を呼んで迎 を示 洋は非常に興味を呼んで迎

鯱佐大四巴棋二大駒青武松錦 ノ賀邱海 編 ノ 薬 ノ ノ 里花山波潟甲川浪里山里里谷

掛けりでは、 を立ち、 を立ち、 をできる。 ででは、 をできる。 ででは、 をできる。 ででは、 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

本…右四つとなり、龍王右から外掛けに攻め羽黒健したるを龍王品り返し西上俵に追ひ詰め寄り倒す男女川(押切り)磐石双葉山(送出し)出羽湊が出した時十三分 浦鹽入港のはる

気・の・

最時々晴 四度二

ンカツの

新京豊樂路三中井前

2

六

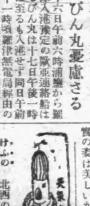














防疫科を中心に赤痢、チフトでは首警衛生科並に市公署のは首警衛生科がに市公署の を動員してお

全市に

保菌者調 が更に赤綱、チフスの保菌 が関に赤綱、チフスの保菌 り獨身寮、養成所、合宿所 各種飲食店調理場の検査、 を種飲食店調理場の検査、

な歯る 等學校入學者緩和のため本等學校入學者緩和のため本年度より新設された新京第二中學校は現在第一中學校 であるが六月初めを期して態よ新學舍を南嶺に建設すべく着工のはこびになる模で載工は十一月の豫定である。

と式第は

親探點に加へ腕と高い品性 によつて甲、乙、丙の階級 によつて甲、乙、丙の階級 によつて甲、乙、丙の階級 でようで重 して養験の平素の素行を重

配し獎勵欽意努めて來たが を兼ね備へた遷妓らしい響 に對し技 襲の のである、本制度は満洲に出性を附治、素質の向上 於てこの組合がトツブを切を聞るため來る六月から 於てこの組合がトツブを切を聞るため來る六月から 於てこの組合がトツブを切を聞るため來る六月から がてこの組合がトツブを切を開るため來る六月から を兼ね備へた遷妓らしい響

開拓文 、彫刻、工藝、宮眞

廿五日から三中井で 化展

文趣等の生々しい藝術作品で を以て年々競展を遂げつム おる開新地質情をあまねく に出)二十六日(日)の雨 に出)二十六日(日)の雨 で化會同人展を華々しく開

來る十七日より

東京式トンカツ専門

の店

どうぞ御

試食の

Ŀ

引立下さ

6.7

1

也

ナは初はい

は紅はか

品 曲 新市室町二ヶ七 世帶道具。加藤的 電の四八三八

器店 **六五八三**番

催祉

为

吉林軍から優勝旗返還

に晴

戰

本年の申込チームは實に九 る、これら各チームは何れ 勝族 主本

を必勝の意氣胸に秘めて織と入京しつゝあるが、大會の序幕はけふ十八日午後 一時新京神社に於て行はれる優勝族返還式に依つて切る優勝族返還式に依つて切る優勝族返還式に依つて切った。 大會役員並に各手はれることゝなつた 大き役員がに発う中社社頭に 大き役員がに入る神社社頭に 大き役員がに進く二流の優 おり栄光が返還され、これよ り答省、市の名響を双肩に擔つた鐵脚群の精鋭前に擔つた鐵脚群の精鋭前に擔つた鐵脚群の精鋭前に擔って後は唯豪莊養林に向つて後は唯豪莊養林に向つて後は唯豪莊養林に向つて後は唯豪莊養林に向つて後は唯豪莊養

政府の傳画

示配を

10

かⅠ競吉京は前肩

電氣學會及び通信學會滿洲 電氣學會及び通信學會滿洲 ること四回愈よ本年も六月 十二、廿三の兩日哈爾濱工 大講堂で第五回大會を開催 下すること」なつた 第五回電氣聯合會 通信關係者を一堂に集める

出鼻に住 てゐる時な

・夢と若い意氣に然 ・一事して来る青年達の ・生宅離の鐵槌がガン ない、最近化街、ネオン街 ・生宅離の鐵槌がガン ない、最近化街、ネオン街 ・まない淋しさをかこ ら一寸のぞいてみでも三 ・のでいてみでも三 ・のでいてみでも三 ・のでいてみでも三 ・のでいてみでも三 - エー組合納税高が

の拔道に 封鎖の手 税に對して誤りを與へ易かから今回ともすれば誤つて 操測した我捐局では税金は れ以上の金額に上るものと れ以上の金額に上るものと

奉天滿洲國野球

、、系日

女子雇員募集

原原

三五九二十

であった従前の各業者手持の傳票審査方法を腹し政府設行 の傳票を新しく業者に配布 しこれに依つて査定を行ひ 動税の完璧を期す事になり 各方面に亘つて實態調査中 であつたが、調査も一段落 したので近く新傳票設行の 国定時株主總會を開催する 油化工業株主總會 滿洲 油化工業株主總會 滿洲 むことになりました で擴充につとめ放送事業に非常な が送についても各放送富 で擴充につとめ放送なが で横充につとめ放送なが に付ても歩調を合せて進 たことになりました。 ・一様では必要な海外 がはない。 ・一様では必要な海外 でで横元につとめなど に付ても歩調を合せて進

總務部長

劍 新京興亜街 外 (研・白輪) 仕事本位の店 備 前 長 地 船 務

應診致します

入院室完備 科 田島醫院 當 藤本ミツノ

與安大路四) 九

\$2.50 \$2.50

島二六〇七





海外宣傳には

百米附近の畑に堆積せる高道協村へ赴き村公署東方三

認可私立新京宏文學院等機械等及寫眞一枚携帶衛來談あれ(給料面談)有筆履歷書及寫眞一枚携帶衛來談あれ(給料面談)希望者は

補により大賽、農安、長春縣

日語教員採用(日本内地人)

互ひが提携

を整へて活潑なる行動を般逮捕)を捕へ高梁繁茂馴味二八名、首響遊動班で過

淨瑠璃大會

日本の最高藝術

捕)平田警佐殺害の明

七日午後八時廿分青列車で歸京本各地の教育視察を終へた訪日教育視察園婦方 ない 約一ヶ月に亘り口を 前一ヶ月に亘り口

十日 去る四月州日から三日間東京放送會館で開催された第 京放送會館で開催された第 三回東亜放油協議會に満洲 國代表として出席した満洲 個代表として出席した満洲 一次送係長は十七日午 本第一放送係長は十七日午 上たが、同會議の複様につ 會議は日本放送協會をは

東亞放送協議會の に會して東亜における今で、北京廣播電豪などの選手者川餘名が一堂の送賞事者川餘名が一堂の を東亜新社にから、 を東亜新社にが、放送事 大きのでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のでは、 大学のできる。 ・ 大学のできる。 大学のできる。 大学のできる。 大学のできる。 大学のでを、 大学のでを、 大学のでを、 大学のでを、 大学のでを 大学のでを 大学のでを 、 大学のでを 大学のでを 大を 大学のでを 大学のでを 大を 上產話 すこと」なり情報を蒐集しに潜伏する一味の検擧をな 雑魚を掬ふが如く近郊部落 雑魚を掬いが如く近郊部落

守衛募集

新京

京京京学會同人

東屋教授講演 大倉高商 東屋教授講演 大倉高商 東屋教授講演を検縦一般に公 関する講演を体縦一般に公 で 関することになつた

御希望の方左記へ御来談を乞ふ優遇す、給料其他面談

新京日日新聞礼庶務 1日子年齢五十歳位迄(地本内) 男子年齢五十歳位迄(地本内)

良優生 東滿鑛業株式會社 新京市入舟町四丁目 電話③三三〇八番

石灰 販賣 行十七名は宋本を兼れ左右は本本を兼れ左右は本事備の都合和 新京朝日通大郎 新京朝日通大郎 新京朝日通大郎 新京朝日通大郎 新京朝日通大郎

茨城縣人に急告

電話③二八七四二

料婦な

闇

の

首

領

日

*

日占中國就縛

『遊動班決死の凱歌

六筬を押收して引揚順下から長銃三遊費

ます

・ 大きく休業中の相生でございます

・ 大改造を加へまして總で入らく休業中の相生でございます

・ 大きく休業中の相生でございます

・ 大改造を加へまして總で入らく休業中の相生でございます 理羅ぎ

が、女の事だとさうだが

岩田は、頃合を見計らつ

最なんだ

たいしたものの

ると態度は日頃と逆

早、それ程魅力のあるもの や、それ程魅力のあるもの では、なれだ後を買つて出 をつたつて、敬の存在は最

その前に訊きた その前に訊きた

度告の御川は

で、ひつかられたり、喰ひさらだが、その他、牧は毎さらだが、その他、牧は毎あの舞楽裏の喧嘩にしても

毎田美恵子を中心にして

それであて、純情で貞淑ない。

出来ないんだ。これからそれを改めて辛担強くならなくては駄目だよ。君と美惠子君と、たとへどんな生活を繰り歯げやらか君が貴乏に對する辛抱が不可能であったら幸福はえられないと思ふ。ヘムムとんだ御説教であったのでしまつたが、事實だらうと思ふ」

※ミシン 新古を不問、買ひたし過 新京 佐 久 川 概2 一八四二番 概2 一八四二番 で 久 川 で 1 八四二番

清水堂鍼灸院

電話(多六七二七番

カメラ修理を記録ることである。

(A)

あんま



店話電見

物島専門

四ノ一十自丁三町業永 前校學小島八 番七三一三・8電

高き焼



電話

金

融

李門八花 神宗郎は十名林堂

電(3)紅江八五

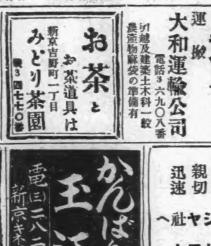
融金工商小中 速 迅 便 輕 社會式株業實省東 (朱〇四梅大同大市別特京新 所在註) (第七一九四2 路和)內水 2 拓和

り掛して、別ればなしには り掛して、別ればなしには が無い戦の性格の事から割

後子は二人の前

今日の鐵子は、何かしら ちれひに沈んでゐるやうで あり、またあれ程醜聞を身 につけてゐる女とは思へな

乾寫資機店 中古为《今売票



宋松接骨院

温殿兄弟商

あるといふ事がさうさ」から

れで話はポシャ

でうる、解つてゐるよ」 でう言つてゐる時であつ た。鎖子が喫茶店の扉を押

大本 会領援や 本 会領援や ツクに依る 迅親安便信速切價利用

三笠町三の什



月融金及話電價販幣税期長・時即融金買買 るあ用信も最は酸相側の誘電入

授業午前、午後、夜間 大 學 婦 時 原務度略一〇五世 瀬洲直賣所 本2 四四五五世 東五五二世

新京東二條通(精織階院演) サツク 黒化し易く用 をなさざる品 生 好 堂 生 好 堂

ほ

ねつ

ざ

消鉄病院東正門新

かし布園 はたし

新京市中央通十三 新京市中央通十三

新京大猫病院

事結婚調査 信用調査



新満端・八書



灸



専属美容部やマドホテル

電話③五



意割温泉閣 新京ダイヤ街



整骨

中央通り



